

事後審査型一般競争入札の実施について（入札公告）

次のとおり事後審査型一般競争入札を行うので、伊丹市自動車運送事業契約に関する規程（平成23年交管理規程第3号）において準用する伊丹市契約に関する規則（平成3年規則37号）の規定に基づき公告する。

令和7年6月17日

伊丹市自動車運送事業管理者 森脇 義和

1. 入札に付する事項

- | | |
|-------------|------------------------------|
| (1) 件 名 | 伊丹市交通局バス乗務員用制服購入 |
| (2) 数 量 | 別紙「仕様書（伊丹市交通局バス乗務員用制服）」のとおりに |
| (3) 納 入 場 所 | 伊丹市交通局（伊丹市広畑3丁目1番地） |
| (4) 履 行 期 間 | 契約締結の日から令和8年2月27日（金）まで |
| (5) 支 払 条 件 | 納入完了後一括払い |
| (6) その他仕様等 | 別紙「仕様書（伊丹市交通局バス乗務員用制服）」のとおりに |
| (7) 予 定 価 格 | 9,782,000円（消費税及び地方消費税抜き） |
| (8) 最低制限価格 | 設定しない。 |

2. 入札に参加する者に必要な資格等

本入札に参加を希望する者は、次のすべての要件を満たしていなければならない。

- ア. 伊丹市及び伊丹市交通局の入札参加資格制限基準に基づく入札参加資格制限、または伊丹市及び伊丹市交通局の入札参加停止基準に基づく入札参加停止措置を受けていないこと。
- イ. 本入札公告日において国税及び地方税並びに消費税を滞納していないこと。
- ウ. 伊丹市暴力団排除条例（平成24年伊丹市条例第4号）第2条各号のいずれかに該当しないこと。
- エ. 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立てをしている者（更生手続開始の決定を受けている者を除く。）、民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てをしている者（再生手続開始の決定を受けている者を除く。）又は破産法（平成16年法律第75号）に基づく破産手続開始の申立てをしている者でないこと。

3. 競争入札参加表明書の提出及び受付通知

本競争入札に参加を希望する者（以下「入札参加者」という。）は、この公告に定める入札参加条件等を確認した上で、「入札参加表明書（様式1）」を提出すること。

- | | |
|-------------|--|
| (1) 提 出 期 限 | 令和7年6月23日（月）まで |
| (2) 提 出 先 | 伊丹市交通局総務課財務係
〒664-0014 伊丹市広畑3丁目1番地 |
| (3) 提 出 方 法 | 持参または郵送（郵送の場合は、入札参加者において期日までに到達したことを証明できる方法による。） |
| (4) 受 付 通 知 | 令和7年6月24日（火）までに、「入札参加表明書受付通知書（様式2）」を入札参加表明書に記載したE-mailアドレスに電子メールで送信する。期日までに通知がない場合は、総務課財務係に問い合わせること。 |

4. 質問の受付及び回答

本案件に係る仕様等について、以下の要領で質問を受け付ける。入札参加者は、仕様書を熟読の上、解釈等について疑義がある場合は自ら安易に判断せず、必ず質問し回答を求めること。

- (1) 受 付 期 間 令和7年6月24日（火）から令和7年6月27日（金）まで
- (2) 提 出 方 法 「質問書（様式3）」に必要事項・質問を記入の上、持参・郵送・電子メールのいずれかにより提出すること。
- (3) 提 出 先 上記3.(2)と同様
(担当) 総務課総務係 高岡宛
電子メールアドレス：550101@city.itami.lg.jp
- (4) 回 答 日 令和7年7月1日（火）までに回答する
- (5) 回 答 方 法 質問があった場合に限り、入札参加者全員に電子メールにて回答を送信する。

5. 入札方法等

- (1) 入 札 方 法 入札書を書留郵便により送付する方法による
封筒表面に「入札書在中」と朱書きすること。
(注) 上記以外の方法（持参・普通郵便等）による入札は無効とする。
- (2) 提 出 先 上記3.(2)と同様
- (3) 提 出 期 限 令和7年7月8日（火）
(注) 期限内に到達しなかった入札書は、無効とする。

6. 入札の辞退

入札参加表明書受付通知書を送付後に入札を辞退する場合には、開札日前日までに「辞退届（様式5）」を上記3.(2)あてに持参又は郵送により提出すること。

7. 開札日時及び入札結果の通知

- (1) 開 札 日 時 令和7年7月9日（水）10時00分
※開札への立ち合いを希望する場合は、前日午後3時までに末尾問合せ先に連絡すること。代理人が立ち合う場合は、「立ち会い委任状（様式6）」を持参すること。
- (2) 入 札 結 果 入札結果は、応札のあった全事業者に対し、参加表明書に記載したE-mailアドレスへ開札日当日中に電子メールにより通知する。

8. 入札手続き・条件等

- (1) 入札保証金は免除する。
- (2) 「入札書（様式4）」に記載している注意事項を厳守すること。
- (3) 予定価格を超える金額の入札は無効とする。
- (4) 落札候補者となるべき同価格の入札をした者が2者以上ある場合は、立会人または本入札に関係のない伊丹市交通局職員によるくじ引きで落札候補者を決定する。
- (5) 入札の結果、入札者がおらず不調となったときは、関係法令に基づき随意契約とする場合がある。
- (6) 入札参加者が不正行為等不穏な行動の疑いのある場合は、当該入札参加者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し、もしくは取り止めることがある。
- (7) 入札に参加する者に必要な資格のない者がした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。
- (8) 本公告に記載していない事項については、伊丹市契約に関する規則及び関係法令による。

9. 入札参加資格審査書類等の提出

落札候補者は、令和7年7月15日（火）17時までに以下の入札参加資格審査書類を提出すること。ただし、「令和6・7・8年度伊丹市交通局入札参加資格者名簿」に登載されている者については、提出を要しない。

- ・商業登記簿（法務局発行の商業登記簿謄本または履歴事項全部証明書）
- ・財務諸表（直近の決算における貸借対照表及び損益計算書）
- ・納税証明書（「法人税」及び「消費税及び地方消費税」について未納の税額のない証明（証明書様式その3の3））
- ・印鑑証明書（法務局発行の証明書）
- ・事後審査型一般競争入札参加資格審査申請書（様式7）
- ・誓約書（暴力団排除関係・様式8）

10. 落札者の決定及び契約保証金の納付

- （1）予定価格以内、最低価格の入札をした者をもって落札候補者とする。
- （2）落札候補者について資格要件の充足を審査し、入札参加資格を認められた者を落札者とする。審査の結果、落札候補者の資格要件が不足している場合には、その者の行った入札は無効とし、次の順位の落札候補者から資格要件の審査を行い、落札者が決定するまで順次行うものとする。
- （3）落札者は、伊丹市契約に関する規則第24条の規定により契約保証金を契約開始日までに納付しなければならない。ただし、同規則第25条第各号の規定に該当する場合は納付を免除する。
- （4）資格要件の審査の結果、資格要件が不足している者には、理由を付してその結果を電子メールにより通知する。その通知を受けた者が、理由について説明を求める場合には、通知日から7日以内に書面にその旨を記載し交通局総務課財務係に提出すること。
- （5）落札候補者が、本公告に定める資格要件の審査に必要な書類を期日までに提出しない場合、又は入札執行者の指示に応じないときは、資格要件を満たしていないものとし、入札を無効とする。

11. 契約の締結及び入札結果の公表

- （1）落札者は、交通局と契約書を締結するものとする。契約書は2通作成し、双方各1通を保管する。
- （2）契約金額は、落札者が消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかに関わらず入札金額に消費税及び地方消費税相当額（1円未満の端数切捨て）を加えた金額とする。
- （3）契約締結日において、資格要件を満たさなくなった場合は契約を締結しない。
- （4）本入札結果は、落札者の決定後に伊丹市交通局ホームページにて公表する。

12. 問合せ先

伊丹市交通局総務課財務係
伊丹市交通局広畑3丁目1番地
電話：072－781－3753

仕様書
(伊丹市交通局乗務員用制服)

- 1 冬服上衣（ジャケット）
- 2 冬服下衣（冬スラックス）
- 3 夏服下衣（夏スラックス）
- 4 レディースベスト
- 5 ネクタイ

適用範囲

この仕様書は、伊丹市交通局が調達する制服一式について規定する。

予定数量

種別	予定数量
冬用上衣（ジャケット）	178 枚
冬用下衣	425 本
夏用下衣	425 本
女性用ベスト	6 枚
ネクタイ	170 本

※女性用ベストは逆身頃（右側が前）とすること。

※各仕様には規格サイズがあるが、そのサイズ表にない者、いわゆる完全別注扱いのものがいることに留意すること（別注対応を含む単価契約とする）。

※受注者による採寸を全職員に対して実施すること。

※予定数量はあくまで予定であり、実際の発注時には多少の増減があるものとする。

※予定数量発注後に、追加発注を行う可能性があるため、納入後 5 年間は、上衣 50 枚、下衣 250 枚、ベスト 2 枚 ネクタイ 100 本程度の追加発注に対応できるようにしておくこと。

採寸

落札事業者は、原則、7 月 22 日（火）～8 月 1 日（金）までの間に、すべての乗務員に対して採寸を行うこと。採寸は平日とし、時間は午前 9 時～午後 17 時までとする。採寸日については、協議の上決定。

納品時期

令和 8 年 2 月 27 日（金）まで

納品方法

品質が仕様を充たしているか検品を行った後、種別ごとにサイズがわかるようにし、職員ごとに納品すること。

製品保証

検収後であっても、納入業者瑕疵による製品不良が発見された場合は無償で交換に応じること。

その他

- ・次ページより記載の各仕様書はベースとなるものであり、事前に交通局の承認を受けた製品のみ、入札対象とする。
- ・製品には、混率・洗濯表示タグをつけること。
- ・サイズの明細が分かるように製品に表示ラベルを付けること。
- ・汚れ防止の為に、製品を袋で包装し、個人別に納入すること。
- ・落札業者はメーカーの出荷済証明書を提出すること。

1. 冬用上衣（ジャケット）仕様書

使用生地

下記①もしくは②の生地で、ストレッチ性を持ったもの。また冬季の車内での着用を想定し、防寒性と一定の通気性を併せ持つこと。伊丹市交通局指定色（現行色）とする。

① 帝人株式会社 T45200（濃紺）

ポリエステル100%

② ①の生地と同等以上の品質・機能をもつもの

色は濃紺とする

構造の概要

① 全般

シングルタイプ二つ釦

ノッチドラベル

総裏仕立て

左胸箱ポケット、左右腰玉縁ポケット、左右内玉縁ポケット付き

サイドベンツ

② 縫い糸

地縫い糸 ポリエステル糸 番手 50 番（スパン糸またはフィラメント糸）

ステッチ糸 ポリエステル糸 番手 50 番（フィラメント糸）

穴かがり糸 ポリエステル糸 番手 30 番（フィラメント糸）

釦付け糸 ポリエステル糸または絹糸

まつり糸 ポリエステル糸または絹糸

③ 針数（3 cm間に表面に表れた糸数）

地縫い 15 針 標準

ステッチ 15 針 標準

手まつり 10 針 標準

④ 縫い代

1 cm以上（背中心 2 cm、衿腰つなぎ 0.6 cm）

⑤ 穴かがり

穴の大きさは釦の大きさに合わせ、かがり糸が布から抜けないようにする。

⑥ 縫製

ミシンの糸調子を整え、つれ、たるみ、しわ、目飛びのないようにし、また返し針を十分に行う。

⑦ 仕上げ

汚れ、異物混入、寸法、外観等进行检查し、プレスを行い、指定された袋等に入れる。

⑧ 洗濯

自宅での洗濯が可能で、色落ちが少なく最低 3 年以上性能を維持できること。

縫製要領

① 衿

裏衿は表生地と同系色のカラークロスを使用する。表衿は上衿と衿腰を地縫し、上側のみ端ミシンをする。衿腰中央に有効長さ 6 cmの衿吊りを付ける。衿みつ中央にはサイズ表示を縫い付ける。

② 前身頃

前身頃と細腹の二枚仕立てとし、前身頃には胸ダーツをとる。前身頃は全面芯とし、剥離が起こらないよう最適な条件で芯を貼る。

③ 胸増芯

毛芯とフェルトで増芯を作り、肩から第一釦にかけてすくいミシンで縫い付ける。

④ 胸ポケット

左胸に口幅 11 cmの箱ポケットを作る。

⑤ 腰ポケット

左右腰に口幅 15.5 cmの雨ブタ付き両玉縁ポケットを作る。雨ブタ表面は表地、裏

面は裏地とする。口の両端は機械カン止めで補強する。

⑥ 内ポケット

左右見返しに両玉縁ポケットを作る。右内ポケットのみ三角雨ブタをつけ、釦でとめる。口の両端は機械カン止めで補強する。

⑦ 袖

袖は二枚袖の筒袖とし、袖口の折代は 4 cmとり、中とじをする。袖口には釦を 3 個縫い付ける。

⑧ 後身頃

ノーフォーク仕様とし、折り目には 0.5 cmのステッチをかける。背中心縫い代は 2 cm、裏地は総裏とする。

⑨ ベンツ

左右脇裾にサイドベンツを作る。背側サイドベンツ内側に幅 1 cmの接着テープを貼り、縫い押さえる。

⑩ 返り止め縫い

衿付けから返り線に沿って 12 cm下まで、前身頃と見返しを縫い付ける。

⑪ 釦、釦穴

上前身頃に 2 個の鳩目穴を等間隔にあげ、下前身頃に 2 個の釦を鳩目穴に合わせて付ける。

⑫ 首後ろに丈夫なタグを付ける。

⑬ 記載されていない箇所については、検定見本による。また、当然行われなければならない事項であれば良心的に対処すること。

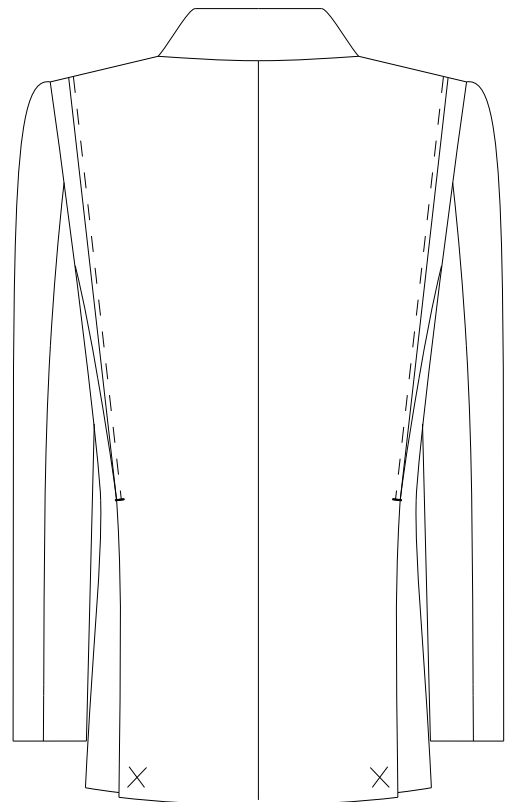
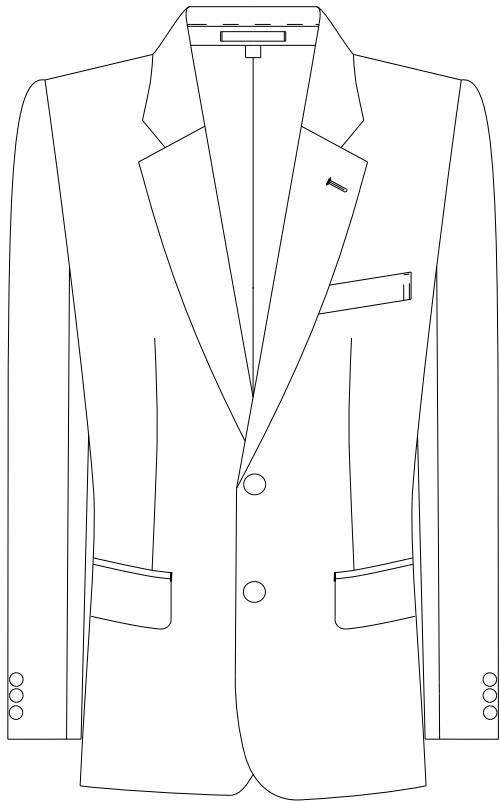
サイズ表

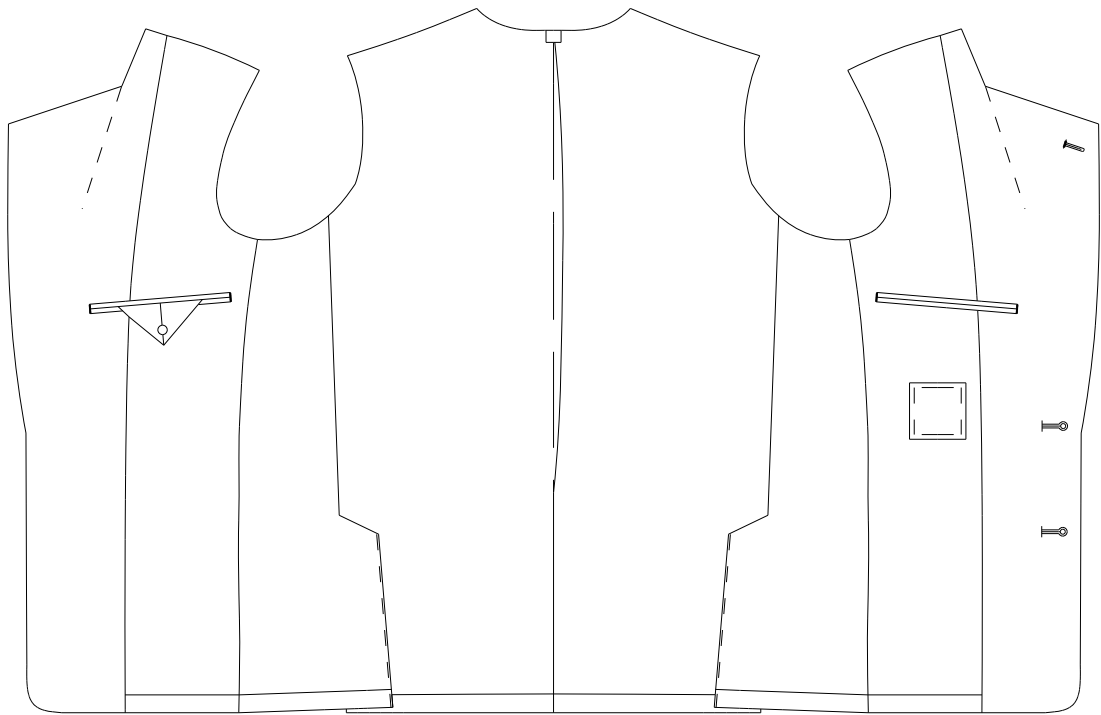
(下記表にあてはまらない職員のサイズは、別注で作成できること)

(単位cm、あがり寸法)

サイズ	身長	着丈	肩幅	胸囲	胴囲	袖丈
A3	160	72	46	108	94	56.5
A4	165	74	47	111	97	58
A5	170	76	48	114	100	59.5
A6	175	78	49	117	103	61

A7	180	80	50	120	106	62.5
A8	185	82	51	123	109	64
B3	160	71	47	112	100	55.5
B4	165	73	48	115	103	57
B5	170	75	49	118	106	58.5
B6	175	77	50	121	109	60
B7	180	79	51	124	112	61.5
B8	185	81	52	127	115	63





2. 冬用下衣（スラックス）仕様書

使用生地

下記①もしくは②の生地で、ストレッチ性を持ったもの。また冬季の車内での着用を想定し、防寒性と一定の通気性を併せ持つこと。伊丹市交通局指定色（現行色）とする。

① 帝人株式会社 T45200（濃紺）

ポリエステル100%

② ①の生地と同等以上の品質・機能をもつもの

色は濃紺とする

構造の概要

① 全般

ウエストアジャスター仕様

左右脇に斜めポケット、左右後身頃にピスポケット付き

ヒザ裏付き

② 縫い糸

地縫い糸 ポリエステル糸 番手 50 番（スパン糸またはフィラメント糸）

ステッチ糸 ポリエステル糸 番手 50 番（フィラメント糸）

穴かがり糸 ポリエステル糸 番手 30 番（フィラメント糸）

オーバーロック ポリエステル糸 番手 80 番（スパン糸）

釦付け糸 ポリエステル糸または絹糸

まつり糸 ポリエステル糸または絹糸

③ 針数（3 cm間に表面に表れた糸数）

地縫い 15 針 標準

ステッチ 15 針 標準

オーバーロック 9 針 標準

手まつり 10 針 標準

④ 縫い代

1 cm以上（後中心 3 cm以上）

⑤ 穴かがり

穴の大きさは釦の大きさに合わせ、かがり糸が布から抜けないようにする。

⑥ 縫製

ミシンの糸調子を整え、つれ、たるみ、しわ、目飛びのないようにし、また返し針を十分に行う。

⑦ 仕上げ

汚れ、異物混入、寸法、外観等进行检查し、プレスを行い、指定された袋等に入れる。

⑧ 腰部分の内側に滑り止めを付ける。

⑨ 自宅での洗濯が可能で、色落ちが少なく最低3年以上性能を維持できること。

縫製要領

① 前タック

左右に各2本もしくは1本、深さ2cmの外向きタックをとる。

② 後ダーツ

左右に各2本とる。

③ 脇ポケット

左右脇縫い目より前方3cmから口長さ18cmの斜め脇ポケットを作る。ポケット口下部は機械カン止めをいれる。袋は袋地を使い、地縫いと押さえミシンの二重縫いとする。

④ ピスポケット

後身頃左右に口幅15cmの片玉縁ポケットを作る。ポケット口両側は機械カン止めをいれる。袋は袋地を使い、地縫いと押さえミシンの二重縫いとする。左ピスポケットのみ鳩目穴をかがり、ポケット内部に釦を付ける。

⑤ 腰

アジャスター仕様の帯付きとし、内部にはインベル芯を貼る。アジャスター可動域の中心位置で規定のウエスト寸法があがるように設定する。帯幅はあがり3.5cmとする。腰裏はマーベルト使用し、後身頃中央で合わせ縫いをする。表、腰裏共に3cm以上の縫い代を付けて下部はまつる。さらに脇、ピスポケット袋の両端を8か所まつる。

⑥ 天狗及び前立て

芯を貼り、ファスナーを付け、剣型鼻天狗とし、鳩目穴をかがり身頃側に釦を付ける。ファスナー開き最下部には機械カン止めをいれる。

⑦ ベルト通し

幅 0.8～1.0 cm、内径 4.5 cmのループ 8 本を上端より 0.5 cm下がりで袋縫いし、下部は二つ折りし、上下ともに腰裏まで貫通して縫い付ける。

⑧ 脇縫い及び内股縫い

二重縫い又は環縫いとする。

⑨ シック

袋地を使用し、幅 2 cm長さ 10 cmとし、縫い代に縫い付ける。(続きシックも可)

⑩ 裾

裾の折り返しは幅 7 cmとし、ミシン縫いで縫い付ける。(一般的なスラックスの縫い方では無く、作業着風)

⑪ 記載されていない箇所については、検定見本による。また、当然行われなければならない事項であれば良心的に対処すること。

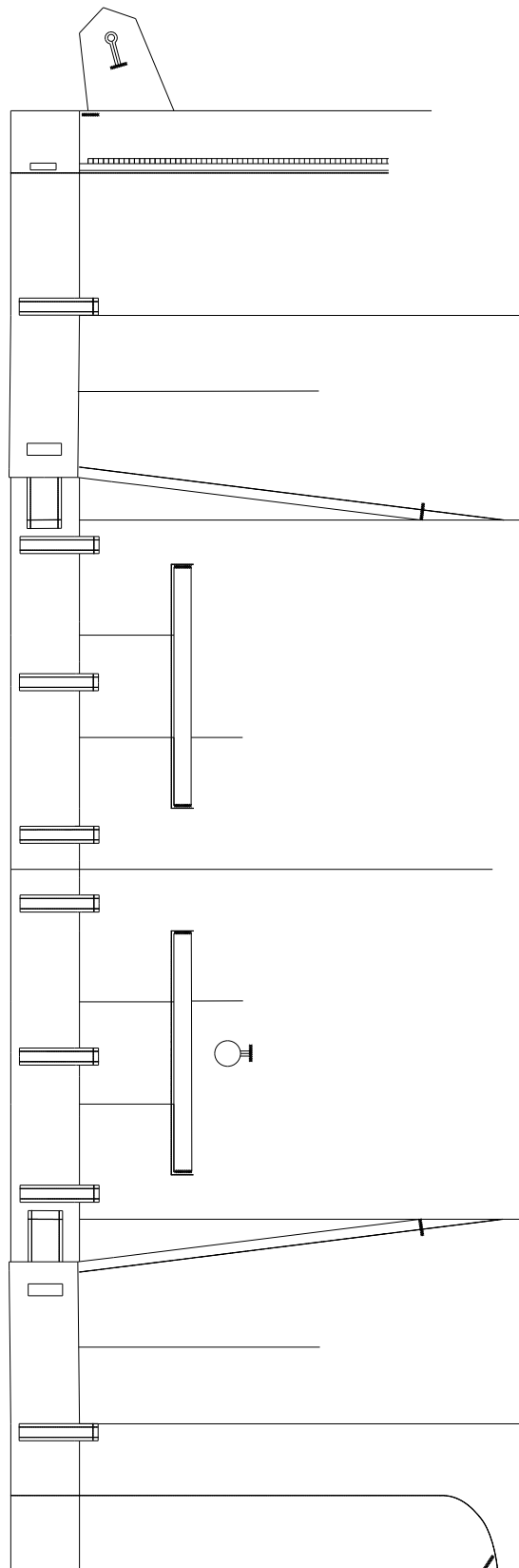
サイズ表

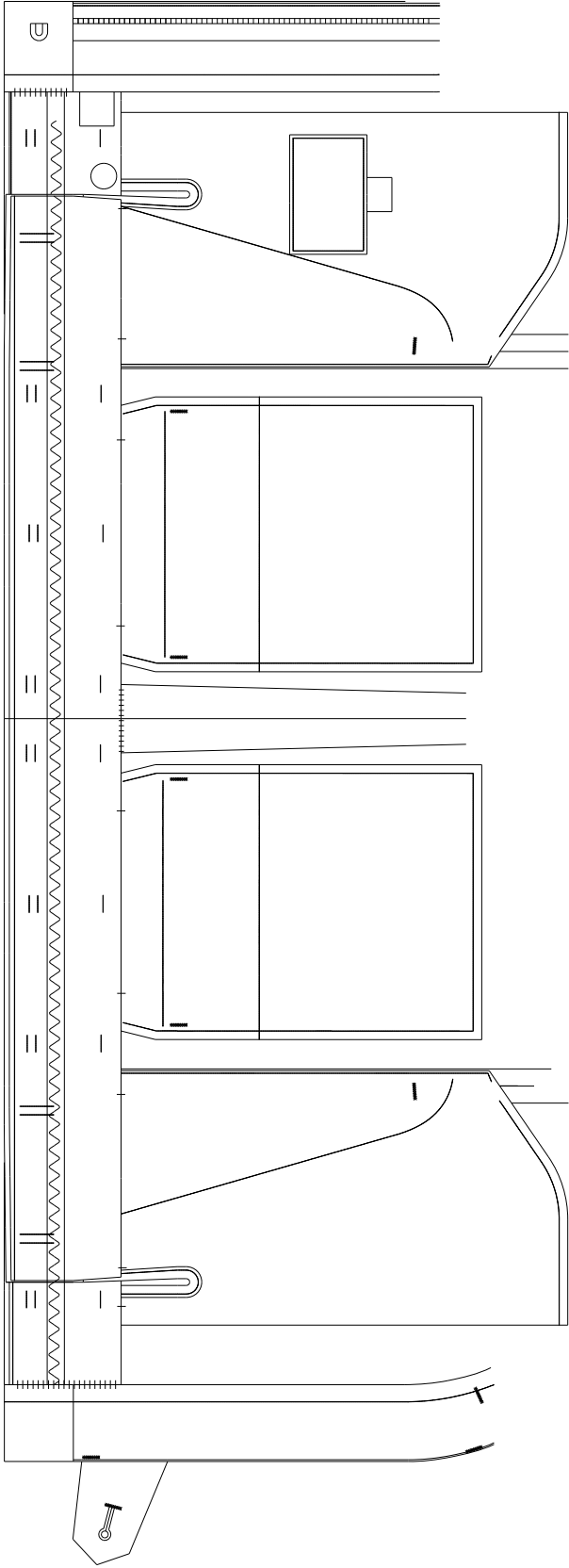
(下記表にあてはまらない職員のサイズは、別注で作成できること)

(単位cm、あがり寸法)

ウエスト	ヒップ	渡り巾	股上	裾口幅
67	96	32	23.5	22.5
70	99	32.5	24	22.5
73	102	33.5	24.5	23
76	104	34.5	25	23
79	107	35	25.5	23
82	110	36	26	23.5
85	112	36.5	26.5	23.5
88	115	37	27	24
91	117	38	28	24

94	120	38.5	29	24
97	122	39	30	24.5
100	125	39.5	31	24.5
105	129	40	32	25
110	133	41	33	25
115	137	42	34	25.5





3. 夏用下衣（スラックス）仕様書

使用生地

下記①もしくは②の生地とし、ストレッチ性を持ったもので、伊丹市交通局指定色（現行色）とする。

① 帝人株式会社 T76705（濃紺）

ポリエステル95%・綿5%

② ①の生地と同等以上の品質をもつもの

色は濃紺とする

構造の概要

① 全般

ウエストアジャスター仕様

左右脇に斜めポケット、左右後身頃にピスポケット付き

ヒザ裏付き

② 縫い糸

地縫い糸 ポリエステル糸 番手 50 番（スパン糸またはフィラメント糸）

ステッチ糸 ポリエステル糸 番手 50 番（フィラメント糸）

穴かがり糸 ポリエステル糸 番手 30 番（フィラメント糸）

オーバーロック ポリエステル糸 番手 80 番（スパン糸）

釦付け糸 ポリエステル糸または絹糸

まつり糸 ポリエステル糸または絹糸

③ 針数（3 cm間に表面に表れた糸数）

地縫い 15 針 標準

ステッチ 15 針 標準

オーバーロック 9 針 標準

手まつり 10 針 標準

④ 縫い代

1 cm以上（後中心 3 cm以上）

⑤ 穴かがり

穴の大きさは釦の大きさに合わせ、かがり糸が布から抜けないようにする。

⑥ 縫製

ミシンの糸調子を整え、つれ、たるみ、しわ、目飛びのないようにし、また返し針を十分に行う。

⑦ 仕上げ

汚れ、異物混入、寸法、外観等进行检查し、プレスを行い、指定された袋等に入れる。

⑧ 腰部分の内側に滑り止めを付ける。

⑨ 自宅での洗濯が可能で、色落ちが少なく最低3年以上性能を維持できること。

縫製要領

① 前タック

左右に各2本もしくは1本、深さ2cmの外向きタックをとる。

② 後ダーツ

左右に各2本とる。

③ 脇ポケット

左右脇縫い目より前方3cmから口長さ18cmの斜め脇ポケットを作る。ポケット口下部は機械カン止めをいれる。袋は袋地を使い、地縫いと押さえミシンの二重縫いとする。

④ ピスポケット

後身頃左右に口幅15cmの片玉縁ポケットを作る。ポケット口両側は機械カン止めをいれる。袋は袋地を使い、地縫いと押さえミシンの二重縫いとする。左ピスポケットのみ鳩目穴をかがり、ポケット内部に釦を付ける。

⑤ 腰

アジャスター仕様の帯付きとし、内部にはインベル芯を貼る。アジャスター可動域の中心位置で規定のウエスト寸法があがるように設定する。帯幅はあがり3.5cmとする。腰裏はマーベルト使用し、後身頃中央で合わせ縫いをする。表、腰裏共に3cm以上の縫い代を付けて下部はまつる。さらに脇、ピスポケット袋の両端を8か所まつる。

⑥ 天狗及び前立て

芯を貼り、ファスナーを付け、剣型鼻天狗とし、鳩目穴をかがり身頃側に釦を付ける。ファスナー開き最下部には機械カン止めをいれる。

⑦ ベルト通し

幅 0.8～1.0 cm、内径 4.5 cmのループ 8 本を上端より 0.5 cm下がりで袋縫いし、下部は二つ折りし、上下ともに腰裏まで貫通して縫い付ける。

⑧ 脇縫い及び内股縫い

二重縫い又は環縫いとする。

⑨ シック

袋地を使用し、幅 2 cm長さ 10 cmとし、縫い代に縫い付ける。(続きシックも可)

⑩ 裾

裾は三つ折りとし、2.5cm のステッチをかける。ミシン縫いで縫い付ける。(一般的なスラックスの縫い方では無く、作業着風)

⑪ 記載されていない箇所については、検定見本による。また、当然行われなければならない事項であれば良心的に対処すること。

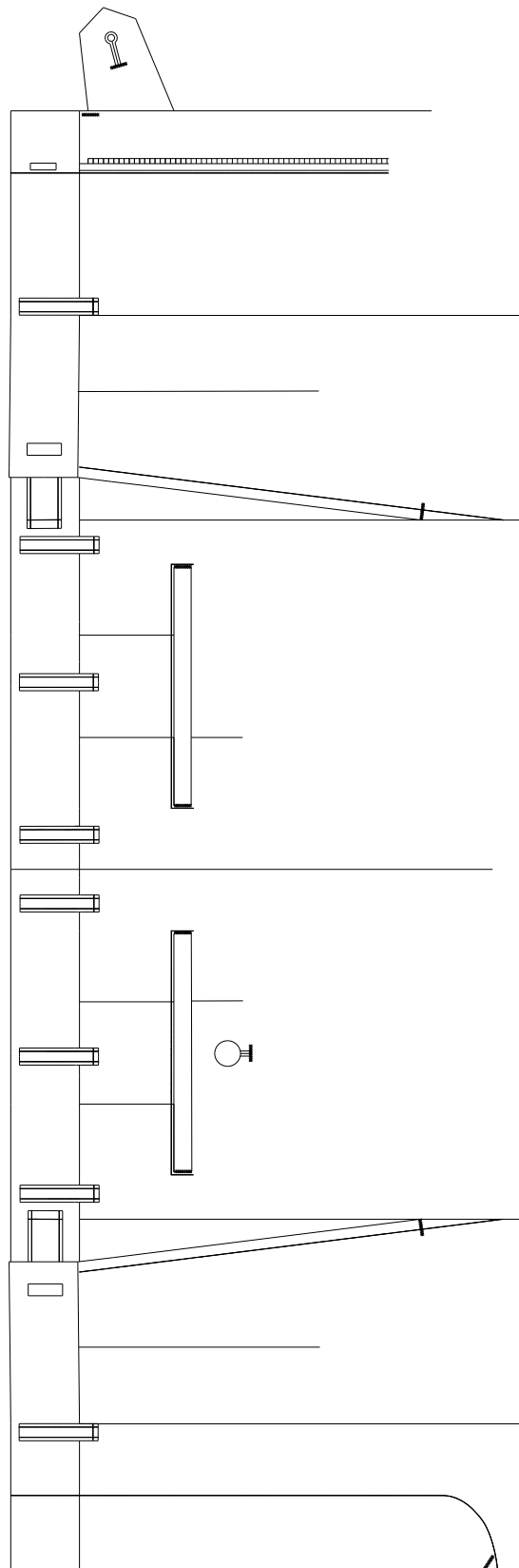
サイズ表

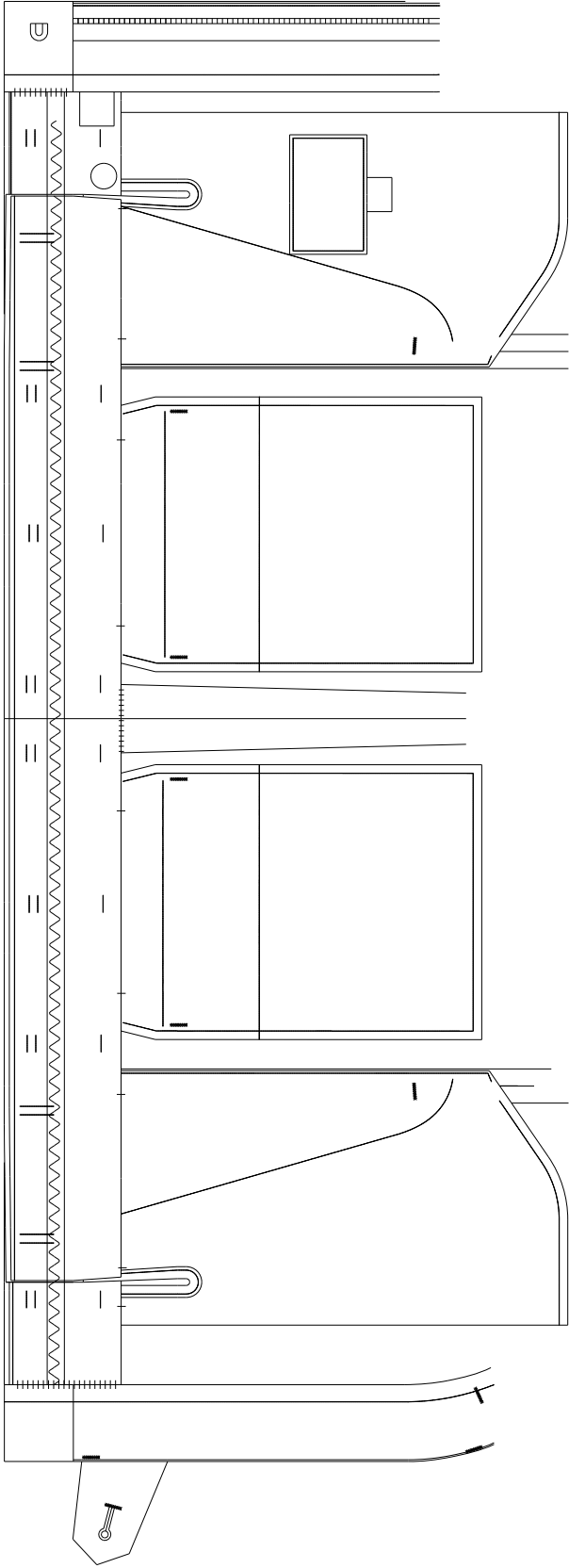
(下記表にあてはまらない職員のサイズは、別注で作成できること)

(単位cm、あがり寸法)

ウエスト	ヒップ	渡り巾	股上	裾口幅
67	96	32	23.5	22.5
70	99	32.5	24	22.5
73	102	33.5	24.5	23
76	104	34.5	25	23
79	107	35	25.5	23
82	110	36	26	23.5
85	112	36.5	26.5	23.5
88	115	37	27	24
91	117	38	28	24

94	120	38.5	29	24
97	122	39	30	24.5
100	125	39.5	31	24.5
105	129	40	32	25
110	133	41	33	25
115	137	42	34	25.5





4. 女性用ベスト仕様書

使用生地

下記①もしくは②の生地とし、伊丹市交通局指定色（現行色）とする。

① 帝人株式会社 T45200（濃紺）

ポリエステル100%

② ①の生地と同等以上の品質・機能をもつもの

色は濃紺とする

構造の概要

① 全般

シングル四つ釦

総裏仕立て

左胸箱ポット、左右腰箱ポケット

② 縫い糸

地縫い糸 ポリエステル糸 番手 50 番（スパン糸またはフィラメント糸）

ステッチ糸 ポリエステル糸 番手 50 番（フィラメント糸）

穴かがり糸 ポリエステル糸 番手 30 番（フィラメント糸）

釦付け糸 ポリエステル糸または絹糸

まつり糸 ポリエステル糸または絹糸

③ 針数（3 cm間に表面に表れた糸数）

地縫い 15 針 標準

ステッチ 15 針 標準

手まつり 10 針 標準

④ 縫い代

1 cm以上

⑤ 穴かがり

穴の大きさは釦の大きさに合わせ、かがり糸が布から抜けないようにする。

⑥ 縫製

ミシンの糸調子を整え、つれ、たるみ、しわ、目飛びのないようにし、また返し針を十分に行う。

⑦ 仕上げ

汚れ、異物混入、寸法、外観等を検査し、プレスを行い、指定された袋等に入れる。

⑧ 自宅での洗濯が可能で、色落ちが少なく最低3年以上性能を維持できること。

縫製要領

① 衿

衿みつ見返し中央にはサイズ表示を縫い付ける。

② 前身頃

前身頃は全面に芯を貼り、胸切り替えは縫い割りとする。芯は剥離が起こらないよう最適な条件で芯を貼る。

③ 裾

裾の折り返しは4 cmとし、脇縫い代裾にはとじを入れる。

④ 胸ポケット

左胸に口幅7.5 cmの箱ポケットを作る。

⑤ 腰ポケット

左右腰に口幅9.5 cmの箱ポケットを作る。

⑥ 後身頃

背中心と脇切り替えは縫い割りとする。脇切り替えのウエストラインに幅2.5 cmの飾りベルトをはさみ縫いする。ベルトには飾り釦を二個縫い付ける。裏は総裏とする。

⑦ 釦、釦穴

上前身頃に4個の鳩目穴を等間隔にあけ、下前身頃に4個の釦を鳩目穴に合わせて付ける。

⑧ 記載されていない箇所については、検定見本による。また、当然行われなければならない事項であれば良心的に対処すること。

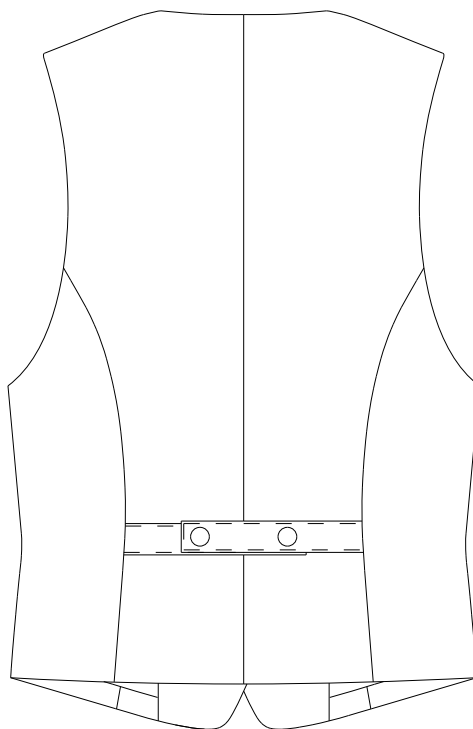
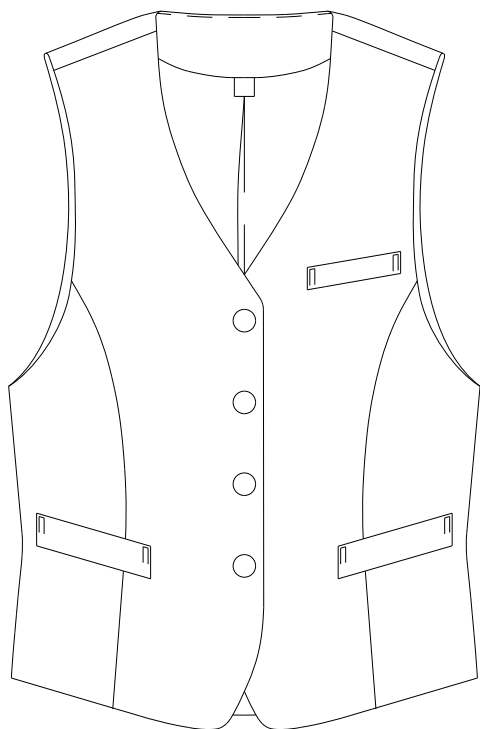
サイズ表

(下記表にあてはまらない職員のサイズは、別注で作成できること)

(単位cm、あがり寸法)

サイズ	着丈	肩幅	胸囲
5	47	31	82

7	48	31.5	85
9	49	32	88
11	50	33	92
13	50	34	96
15	51	36	102
17	52	37	108



5. ネクタイ仕様書

構造の概要

① 全般

ネクタイ柄

A：緑×紺の斜めストライプ

B：ゴールド×紺の斜めストライプ

C：赤×紺の斜めストライプ

※A、B、C 全て作成できることとし色については、伊丹市交通局指定色（現行色）とする。

- ・生地 ポリエステル 100%（現行品と比較し芯地を厚くすること）
 - ・ネクタイ全長 142cm
 - ・小剣幅 3.5cm
 - ・大剣幅 8.5cm
 - ・ストライプ幅（緑、ゴールド、赤）1cm ×紺 1 cm
- 色については、伊丹市交通局指定色（現行色）とする。

② 縫い糸

ポリエステル 100%

③ 名前記入用ネーム

大剣側の裏地部分に名前記入用ネームを挟み込む。

④ 縫製

大剣裏 本裏仕立て

